設計内容説明書　非住宅用（新築）

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物の名称 |  |
| 建築物の所在地 |  |
| 設計者氏名 |  |
| 審査員氏名 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定事項 | 確認項目※ | 設　計　内　容　説　明　欄　　　※ | 設計内容確認欄 |
| 項目 | 設計内容 | 記載図書 |
| ０．基本事項 | 計算方法 | 用いた計算法 | □　標準入力法　　□　モデル建物法 | □入力シート□建築概要書□平面図□断面図□ | □適 |
| 基本事項 | 地域の区分 | □　１地域　　□　２地域　　□　３地域□　４地域　　□　５地域　　□　６地域□　７地域　　□　８地域 |
| 階数 | ・地上（　　　）階、地下（　　　）階 |
| 敷地面積 | （　　　　　　　　　）【㎡】 |
| 延べ面積 | （　　　　　　　　　）【㎡】 |
| 年間日射地域区分 | （　　　　　　　　　）地域注）太陽光発電又は太陽熱利用設備導入時のみ |
| 地域熱供給等利用 | ・他人から供給された熱の一次エネ換算値　冷熱（　　　　　　）、温熱（　　　　　　） |
| １．標準入力法 | 室仕様 | 室仕様 | ・標準入力法入力シート様式1による | □機器表□系統図□平面図□□ | □適 |
| 空調設備 | 空調ゾーン | ・標準入力法入力シート様式2-1による |
| 外壁構成 | ・標準入力法入力シート様式2-2による |
| 窓仕様 | ・標準入力法入力シート様式2-3による |
| 外皮 | ・標準入力法入力シート様式2-4による |
| 熱源 | ・標準入力法入力シート様式2-5による |
| 2次ポンプ | ・標準入力法入力シート様式2-6による |
| 空調機 | ・標準入力法入力シート様式2-7による |
| 換気設備 | 換気室 | ・標準入力法入力シート様式3-1による |
| 換気送風機 | ・標準入力法入力シート様式3-2による |
| 換気空調機 | ・標準入力法入力シート様式3-3による |
| 照明設備 | 照明 | ・標準入力法入力シート様式4による |
| 給湯設備 | 給湯室 | ・標準入力法入力シート様式5-1による |
| 給湯機器 | ・標準入力法入力シート様式5-2による |
| 昇降機 | 昇降機 | ・標準入力法入力シート様式6による |
| 太陽光 | 太陽光発電 | ・標準入力法入力シート様式7-1による |
| コジェネ | ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ設備 | ・標準入力法入力シート様式7-3による |
| PAL＊ | 非空調外皮 | ・標準入力法入力シート様式8による |
| ２．モデル建物法 | 基本情報 | 建築物用途等 | ・モデル建物法入力シート様式Aによる | □機器表□系統図□平面図□□ | □適 |
| 計算対象部分面積 |
| 空調対象床面積 |
| 外周長 |
| 非空調コア部 |
| 外皮仕様 | 開口部仕様 | ・モデル建物法入力シート様式B1による |
| 断熱仕様 | ・モデル建物法入力シート様式B2による |
| 外皮 | ・モデル建物法入力シート様式B3による |
| 空調設備 | 空調熱源 | ・モデル建物法入力シート様式C1による |
| 空調外気処理 | ・モデル建物法入力シート様式C2による |
| 空調ポンプ | ・モデル建物法入力シート様式C3による |
| 空調送風機 | ・モデル建物法入力シート様式C4による |
| 換気設備 | 換気 | ・モデル建物法入力シート様式Dによる |
| 照明設備 | 照明 | ・モデル建物法入力シート様式Eによる |
| 給湯設備 | 給湯 | ・モデル建物法入力シート様式Fによる |
| 昇降機 | 昇降機 | ・モデル建物法入力シート様式Gによる |
| 太陽光 | 太陽光発電 | ・モデル建物法入力シート様式Hによる |
| コジェネ | ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ設備 | ・モデル建物法入力シート様式Iによる |
| ３.その他基準(第1又は第2のいずれかに適合) | 第1の1 | 再生可能エネルギー利用設備の設置 | □太陽光発電設備□風力・水力・バイオマス等の発電設備□太陽光・地中熱利用設備□河川水熱等を利用する設備□薪・ペレットストーブ等の熱利用 | □機器表□平面図□ | □適 |
| 第１の1（右記項目のうち1項目以上適合） | 節水措置 | □　節水便器の設置□　節水水洗の設置□　電気食器洗い機の設置 | □機器表□平面図□ | □適 |
| 雨水等の利用 | □　雨水利用□　井戸水利用□　雑排水利用 |
| 一次エネ削減 | □　ＢＥＭＳの採用 |
| 蓄電池使用 | 再生可能エネルギーと連系した定置型蓄電池の採用 |
| ヒートアイランド対策 | 敷地緑化等* 緑地又は水面の面積が敷地面積の１０％以上
 |
| ヒートアイランド対策木造住宅・建築物 | 敷地の高反射性塗装□　日射反射率の高い塗装の面積が敷地面積の１０％以上 |
| 屋上緑化等□　緑化を行う又は日射反射率等の高い屋根材を使用する面積が屋根面積の２０％以上 |
| 壁面緑化等□　壁面緑化を行う面積が外壁面積の１０％以上 |
| 緑化等面積率＋日射反射面積率＋屋根緑化等面積率×１/２＋壁面緑化面積率≧１０％ |
| □　木造建築物 |
| 高炉セメント等の利用 | □　高炉セメント使用の有無□　フライアッシュセメント□　高炉スラグ又はフライアッシュを混和剤として利用 |
| 電気自動車充放電設備の設置 | * 電気自動車等と建築物間で充放電等するための設備を設置

・設置台数等（　　　　　　　　　　　　） |
| 第２ | 所管行政庁の認めるもの | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ |
| 基本方針 |  | 都市の緑地の保全への配慮 | □都市緑地法に定める「緑地保全地域」に適合□都市緑地法に定める「特別緑地保全地区」に適合□都市緑地法に定める「緑化地域」に適合□都市緑地法に定める「緑地協定」に適合□生産緑地法に定める「生産緑地地区」に適合□建築基準法に定める「建築協定」に適合□緑地保全に関する市町村の条例に適合□該当なし | □証明書□適合書□許可書□届出書□ | □適 |
| 資金計画 |  | 建築に係る資金計画 | （　　　　　　　 　万円） | □申請書 | □適 |